

I 第51週の発生動向 (2016/12/19~2016/12/25)

- 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で**注意報**が発令されました。むつ保健所管内では、前週から患者報告数が増加傾向にあることから、今後の発生動向に注意が必要です。
- インフルエンザについては、県全体の定点当たり患者報告数はわずかに減少しましたが、東地方+青森市保健所及び八戸保健所管内では患者報告数が増加しました。五所川原保健所管内及び上十三保健所管内では、前週に引き続き報告数が多い状態が続いています。
県内でAH1pdm09のインフルエンザウイルスが検出されました。
- 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり患者報告数はわずかに減少しましたが、八戸保健所管内及び五所川原保健所管内では患者報告数が増加しました。全国的には患者報告数が多い状態が続いていることから引き続き注意が必要です。
- マイコプラズマ肺炎については、むつ保健所管内で第44週以降、患者報告数が減少していましたが、前週から再び増加傾向にあることから注意が必要です。

II 第51週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科	インフルエンザ	23	1.77	11	0.73	12	0.80	51	7.29	39	4.33			136	2.09	-8	
小児科	RSウイルス感染症	8	1.00	3	0.33			1	0.20	4	0.67	1	0.25	17	0.40	-10	
	咽頭結膜熱	6	0.75	12	1.33	4	0.40							22	0.52	6	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.13	20	2.22	28	2.80	6	1.20			3	0.75	66	1.57	-6	
	感染性胃腸炎	80	10.00	31	3.44	91	9.10	49	9.80	91	15.17	37	9.25	379	9.02	-76	
	水痘	3	0.38			2	0.20	2	0.40	2	0.33			9	0.21	-3	
	手足口病					4	0.40	1	0.20	2	0.33			7	0.17	-1	
	伝染性紅斑	6	0.75							1	0.17			7	0.17	-2	
	突発性発しん	1	0.13	5	0.56	3	0.30			1	0.17	3	0.75	13	0.31	-6	
	百日咳																-1
	ヘルパンギーナ	1	0.13			3	0.30							4	0.10	-3	
流行性耳下腺炎	1	0.13							1	0.17	17	4.25	19	0.45	0		
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50							2	0.18	-1	
基幹	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00	1	1.00	2	2.00					9	9.00	13	2.17	7	
	無菌性髄膜炎															0	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1	

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

梅毒 (五類全数把握疾患) 第2回

梅毒の病原体は、梅毒トレポネーマという細菌です。痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、さらには数年~数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがあります。

梅毒として報告された全国の症例数は、近年では2011年から増加を続けており、2016年には第50週までに前年の約1.6倍の4,336例が報告されました。女性の報告数は、2015年には2010年の約6倍の760例に増加し、2016年には第50週までに前年の約1.7倍の1,311例が報告されました(図)。青森県内では2015年から増加を始め、2016年は第51週までに前年の約3倍の26例が報告され、男女同数の報告でした。

妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があるため**注意**が必要です。

コンドームの適切な使用により、感染のリスクを減らすことができます。

疑われる症状があった場合は、早めに医療機関を受診し医師の指示に従う必要があります。

○詳しくはこちらをごらんください [厚生労働省\(梅毒Q&A\)](#)

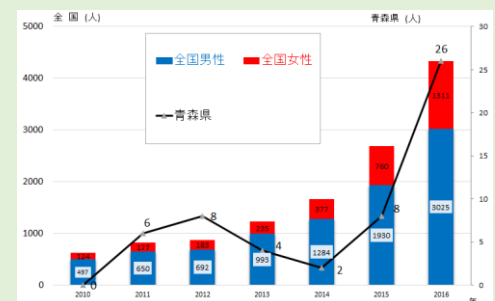


図.梅毒患者報告数 (2016年は暫定値)

(青森県及び全国 2010-2016年)

2016年は第50週まで

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市1人、弘前2人、八戸3人、上十三1人 (2016年計:293人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計:6人)

Ⅳ 病原体検出情報

※()内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・インフルエンザ患者(咽頭ぬぐい液、12/1)・・・ヒトライノウイルスA：青森市1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2016年第34週～2016年第51週)

第51週の患者報告数は136人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは134人

【A型：133人、B型：1人】でした。

第51週の年齢別患者報告数は、14歳以下の割合が全体の約4割を占めました。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
東地方																		
弘前						1					1		4		3	6	12	11
八戸											9	3	7	2	8	7	10	12
五所川原											4	1	1	3	2	17	55	51
上十三												2	1	8	35	30	47	39
むつ													1	3	1	1	2	
青森市				1											4	11	18	23
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	72	144	136

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
東地方																		
弘前						1					1		4		3	6	12	11
八戸											9	3	7	2	8	7	10	12
五所川原											4	1	1	3	2	16	55	51
上十三												2	1	8	35	29	45	37
むつ													1	3	1	1	2	
青森市				1											4	10	18	22
合計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	69	142	133

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
東地方																		
弘前																		
八戸																		
五所川原																		
上十三																1		
むつ																		
青森市																1		1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1

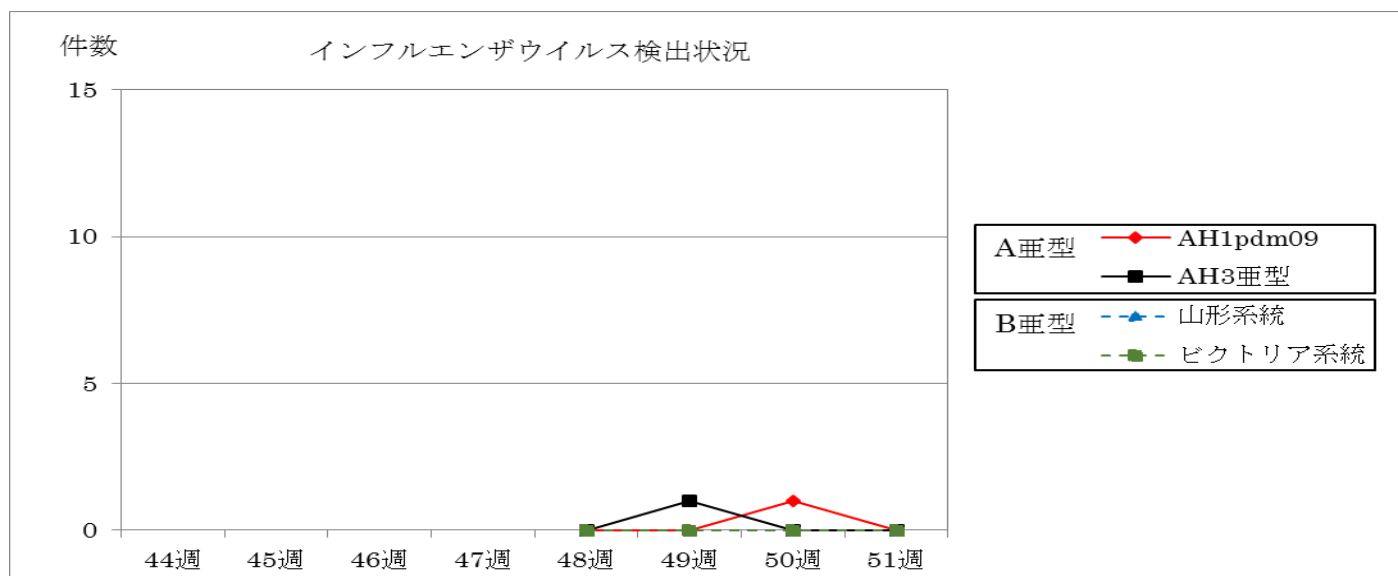
年齢区分別(人)

週	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
～5ヶ月																		1
～11ヶ月																		2
1歳														1		1	1	2
2歳											3					4	3	4
3歳											1	1			2	4	8	7
4歳											1				1	3	1	3
5歳													1			1	5	3
6歳											3			1	2	5	7	2
7歳													1		4		5	
8歳												1	1	1	2		5	4
9歳													1	1	5	2	5	5
10～14歳												1	1	5	10	18	32	24
15～19歳													4	1	6	8	35	13
20～29歳											3			1	3	1	7	8
30～39歳							1					1	1	1	2	5	8	11
40～49歳											1	1	1	1	5	13	4	14
50～59歳													1	1	5	4	8	11
60～69歳				1							1		2	1	5	2	5	10
70～79歳																	3	4
80歳以上											1	1		1	1	1	2	8

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2016年								直近5週間合計	2016/2017 シーズン 合計
		44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		
提出検体数		0	0	0	0	3	1	1	1	6	7
A亜型	AH1pdm09					0	0	1	0	1	1
	うちタミフル耐性株										
	AH3亜型					0	1	0	0	1	1
B亜型	山形系統					0	0	0	0	0	0
	ビクトリア系統					0	0	0	0	0	0
合計（検出ウイルス数）						0	1	1	0	2	2

注1）2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第48週～2016年第51週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
48	H28.11.28 ~ H28.12.4		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人				
49	H28.12.5 ~ H28.12.11	レジオネラ症1人		梅毒1人			
50	H28.12.12 ~ H28.12.18	レジオネラ症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 梅毒1人	後天性免疫不全症候群1人 梅毒2人			
51	H28.12.19 ~ H28.12.25	アメーバ赤痢1人					

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2016年第48週～2016年第51週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
48	H28.11.28 ~ H28.12.4		3	1		1	
49	H28.12.5 ~ H28.12.11	2		3			1
50	H28.12.12 ~ H28.12.18	1	2	2	1		
51	H28.12.19 ~ H28.12.25	1	2	3		1	

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2016年第1週～第50週累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	23019	10	120	3566	50	19	341	262	20	6

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	12	58	1	13	453	330	272	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	5	53	8	1538	74	1089	261	1498	725

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	14	163	473	1379	68	293	43	2549	296	4336

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	130	124	56	125	156	33

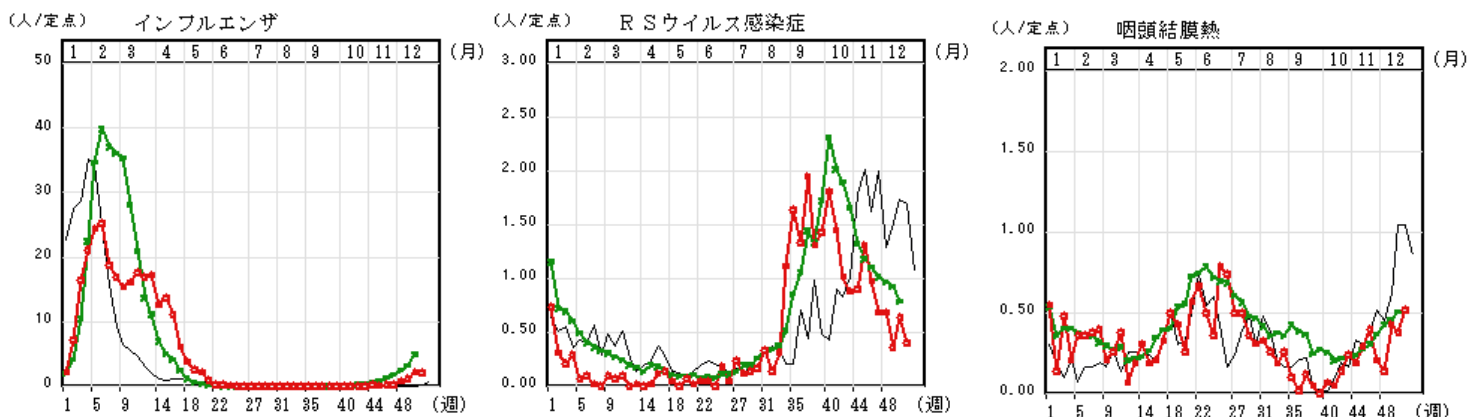
青森県（2016年第1週～第51週累計）

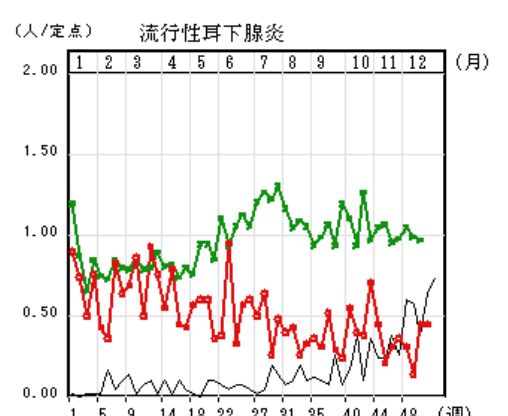
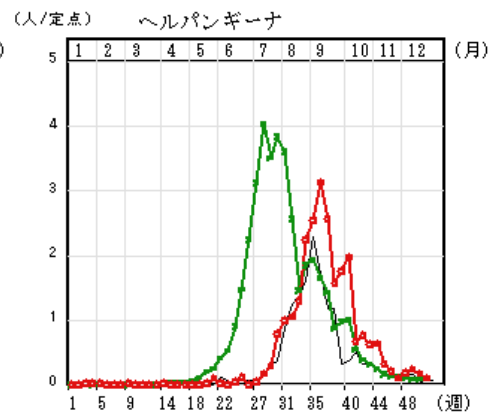
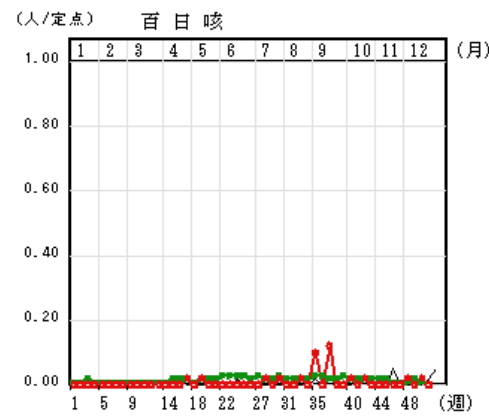
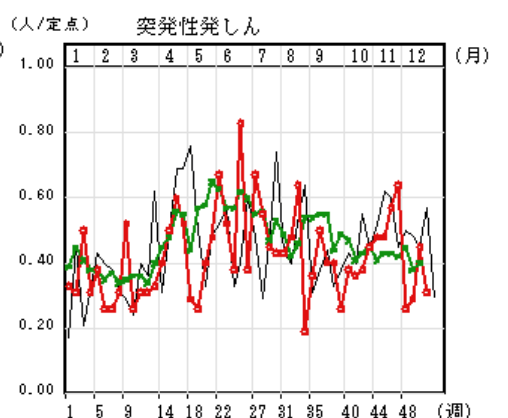
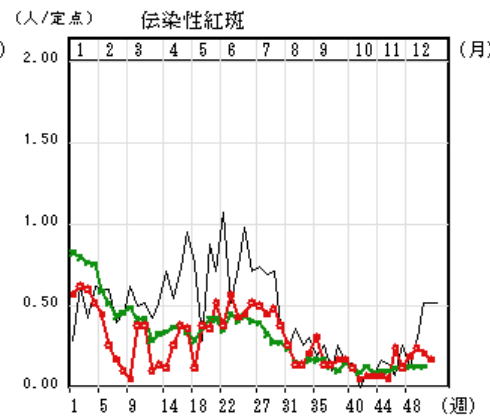
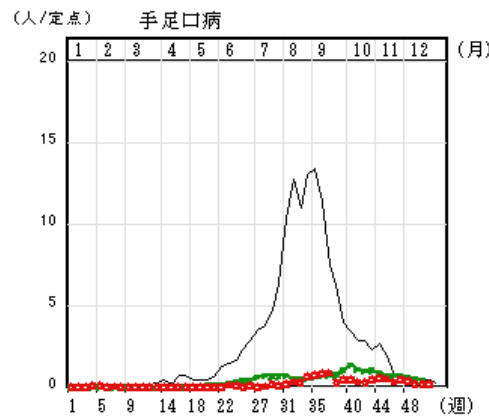
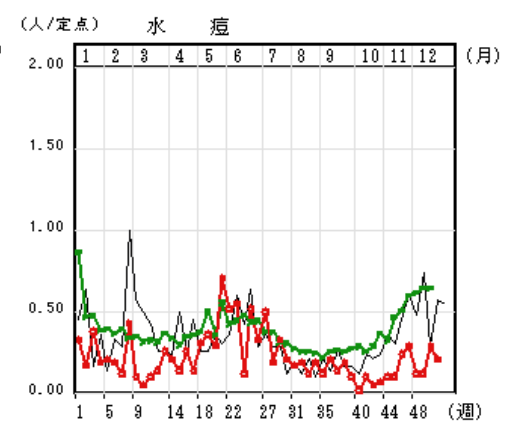
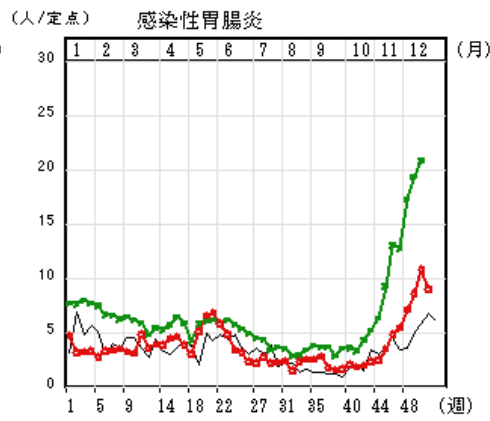
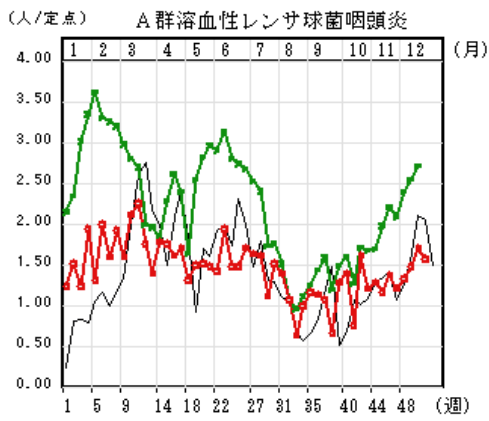
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	293	2	97	5	3	1	9	8	6	17

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風
累積報告数	1	4	4	4	9	3	26	2

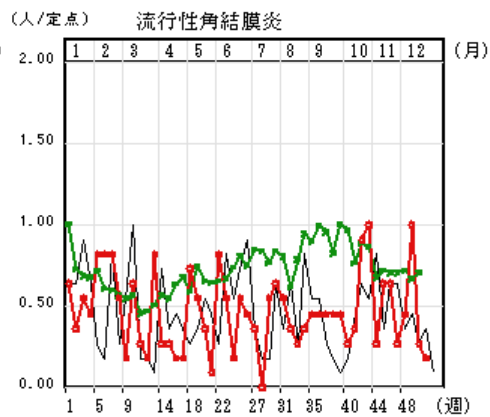
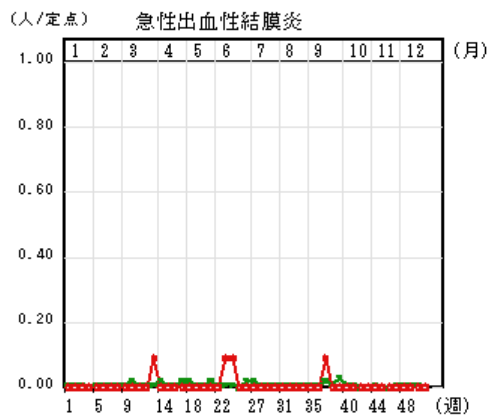
X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2016年第51週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国

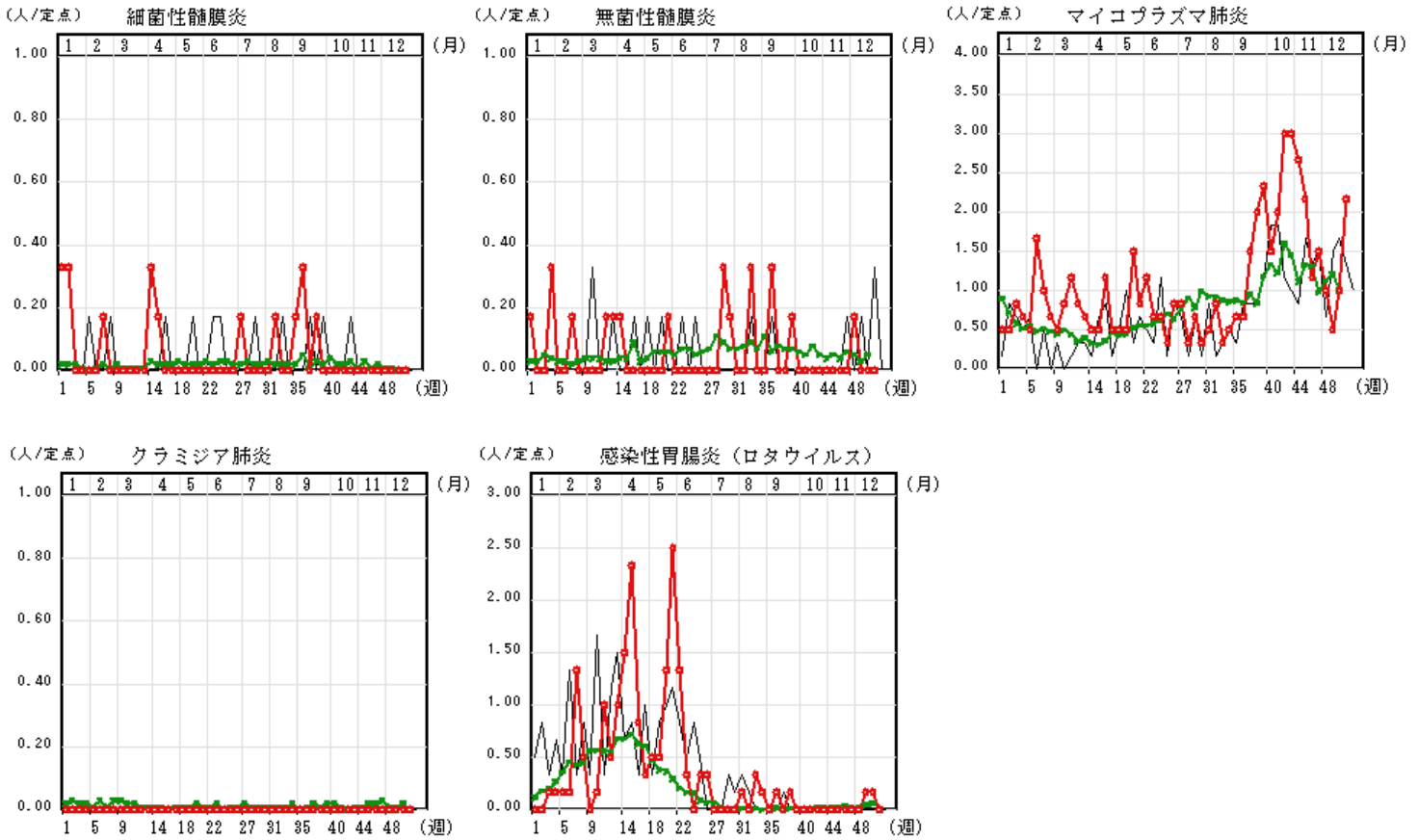




XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第51週、ただし全国は前週)



XII 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第51週、ただし全国は前週)



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第51週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第51週	児童・婦人関係施設等	32	八戸保健所

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)												計 (施設別)			
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13-16週	5月 17-21週	6月 22-25週	7月 26-30週	8月 31-34週	9月 35-38週	10月 39-43週	11月 44-47週	12月 48週 49週 50週 51週				
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	3	0	1	10
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	23	0	54	0	32	200
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	1	0	3	0	1	21
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	23	0	54	0	32	417